



ぬくもりを感じて

なかくらしげき

中倉茂樹

徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会
「止揚の会」事務局

高校3年生まで自分が被差別部落の人間と気づかずに育つ。高校の人権集会で自らの置かれている社会的立場を公表し、同和問題に取り組み始める。「同和問題学習は、すべての人が幸せになるための勉強」と、誰にでも分かりやすいユーモアを交えた熱い講演を繰り返す。

■職歴・経歴

1977年 徳島県生まれ。

小学校時代にいじめを受け、部分的記憶喪失になる。中学校時代に、同級生がいじめられ不登校になり、毎日彼の家の様子を見に行くが、教室に戻ってくることはなく、彼の父親がノイローゼになり自殺に追い込まれる。その時、いじめに対しての怒りが込み上げる。

高校時代の人権集会で「部落民宣言」をし、本格的に同和問題に取り組み始める。

徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局

徳島県人権・同和教育講師団・講師

徳島県人権エンタメ集団「友輝」

吉野川市怪傑講師団講師として、全国各地から招聘され、年間約150回の講演を行っている。

■講演内容

“ぬくもりを感じて”と題し、自ら体験した部落差別について、また、活動を通して得た本当の仲間とのつながりやぬくもりについて、若さを生かした熱い講演を繰り返す。そして、結婚差別と闘う今を語る。

聴衆参加型のスタイルを取り、聴くだけでなく自らの問題として考えることができる講演と、各地で好評を得ている。

※「止揚の会」⇒しようのかい